

浄心寺だより

発行
浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081
笠岡市笠岡2065
電話(0865)62-2623
FAX(0865)62-2595
振替01260-9-13760
<http://joshinji.suki-ari.net/>



「み法を味わって」(聖)

彼岸への道

三月、お彼岸の月を迎えました。彼岸とは仏さまの世界のことで、お悟りを目標とし真実のしあわせになる、心を新たにしていくなための月です。

仏さまの世界に二つの呼び方があるのはありがたいことです。極樂は極めて楽しいことですから、何でも存分に楽しく皆とできる所です。しようとするときも、している最中も、終わってから楽しいのです。しかしお浄土ですから、自分勝手な思いから人の迷惑もかえりみず楽しんでいられるのも、何もせずに楽にするのではありません。浄土は清らかな、けがれなき世界ですから、心も姿も行いも言葉も、自分も人も社会も自然も宇宙も、きれいになっていくのです。清くても冷たくはありません。極樂ですから。

この世界に向かう人生をしあわせな人生と言うのであり、しあわせを得るためにこそ仏教を聞くこと(聴聞)が何よりも大切なのです。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

ごあんない

春季彼岸会・永代経法要

三月十八日(火) 十三時半より

ご講師 高梁市

浄福寺 山下瑞円師

報恩講法要つとまる



ようやく冬らしくなつた十二月七日、報恩講法要が勤まりました。

十三時半から住職と前任職で正信偈をお勤め。最後に住職が親鸞聖人の伝記『御伝鈔』を拝読。

ご講師は三次市の源光寺、福岡玄猷師で、「浄土真宗のお念仏」についてお話しいただきました。

まず、法事はなぜするのか？と言うられると答えに窮しますが、先生は、故人を偲ぶ、私に遇う、仏法に遇う、の三つだと。鎮魂とか慰霊ではありませんよ、と。

では、お念仏を何を考えながら称えていますか？交通安全、家内

安全、病氣平癒、受験合格、商売繁盛などを願つて称えるもの、ではありませんが、単なる「ありがたい」とでもないのです、と。

親鸞聖人によれば、お念仏は私から阿弥陀さまへの一方的な感謝ではなく、むしろ阿弥陀さまから私への呼びかけで、私と阿弥陀さまの関係は反抗期の中学生と親のようなものだ。ほつといてくれ、という子に対し、そんなことはないよ、みんなのおかげで今があるのだから、という親の視点だ。阿弥陀さまの願いにはあるのだと。

最後に山伏弁円の紙芝居をされ

やさしい仏教講座

第29回 2月4日(まとめ)

「曇鸞大師」

今回は七高僧のうち第三祖の曇鸞大師です。正信偈の「本師曇鸞梁天子 常向鸞処菩薩礼 三蔵流支授淨教 焚焼仙経帰楽邦」で、「浄土真宗の祖師、曇鸞大師を梁の国王〔武帝〕は、常に曇鸞が住むところに向いて、菩薩として「敬い」礼拝しました。「曇鸞大師は」三蔵法師の菩提流支から浄土の教えを授かり、「それまで信じてい

た」不老不死を説く仙経を焼き捨てて、極楽浄土「の教え」に帰依されました」という意味です。

この個所を、大阪のあるご住職が作った紙芝居でみました。曇鸞大師は学問を続けたいがために長生きしたいと思ひ、不老長寿の術の巻物入手。ところが菩提流支という僧に出会い、極楽浄土の教えのすばらしさに感銘を受け、これまでの巻物を一切焼き尽くしました。そして浄土の教えに帰依さ

れたのでした。

誰もが長生きしたいと思うわけですが、誰もがいずれは死なねばなりません。それについて、仏教学者の佐々木閑先生のお話をみていきました。

「御堂さん」一月号の中で先生は次のようにおっしゃいます。死について考えるのは生物の中でも人間だけだ。だからこそ宗教によってその不安を取り除かねば、日常生活が安心して送れない。そして、死の不安から解放されるのは死の瞬間であり、死後は安心の世界だといえる。わたしたちは「死

ました。関東で人々のために祈りを捧げてきた弁円でしたが、突然やって来た聖人を妬ましく思っていました。しかし聖人に実際に会い、念仏の教えの素晴らしさに気づかされ、改宗したという話です。

自分の力で人々を救ってきた弁円でしたが、阿弥陀さまから願われているという視点にはつと気づいたのです。「われ称えわれ聞くなれど南無阿弥陀仏、つれてゆくぞの親のよびごえ」(原口針水) 今年色づくのが遅れた境内のイチヨウですが、当日には例年通りほほ散り終えていました。

ぬのは怖い」と考えるが、死ねばそれが安らぎに変わる、この転換をできるのが仏教である、と。

「合掌、礼拝の仕方」

合掌は両手を胸の前に合わせて念珠を通し、親指で軽く押さえて念仏をとなえます。そのまま上体を約四十五度かたむけ礼拝。上体を起こし合掌をときます。

阿弥陀さまへのごあいさつは合掌礼拝にはじまり合掌礼拝におわります。礼拝は「祈る」ことではなく「仏さまのお徳をたたえ敬うこと」です。

令和7年度 行事計画

◎ 春季彼岸会・永代経	3月18日(火) 13時30分	高梁市・浄福寺 山下瑞円 師
◎ 初参式	5月4日(祝) 10時	希望者とその家族
◎ 総会	5月17日(土) 11時	
◎ 降誕会	13時	コール清風、チャリティコンサート、上方落語
◎ 研修旅行	6月17日(火)	大谷本廟など
◎ 法物虫ぼし法座	7月17日(木) 13時30分	倉敷市福江・西方寺 幡多哲也 師
◎ サマースクール	7月22日(火) 10時から21時	長谷川憲章 師
◎ お盆法要	8月14日(木) 15日(金)	住職
◎ 秋季彼岸会・永代経	9月25日(木) 13時30分	今治市大三島町・万福寺 浅野執持 師
◎ 地区委員会	12月6日(土) 11時30分	
◎ 報恩講	13時30分	三原市大和町・教専寺 福間義朝 師
◎ 除夜会・修正会	12月31日(水) 23時40分	
◎ 新春のつどい	令和8年1月中旬	
◎ 春季彼岸会・永代経	令和8年3月 日時未定	講師未定
あさのおつとめ	毎朝6時	
◇ やさしい仏教講座	【30】4/8(火) 【31】6/10(火) 【32】8/23(土) 【33】10/3(金) 【34】12/12(金) 毎回14時 解説:住職	
◇ 境内清掃のつどい	毎月15日 13時30分より (但し1,8,9月はお休み、6,7月は7:30から)	
※「浄心寺だより」発刊	151号(5月) 152号(7月) 153号(11月) 154号(3月)	
仏教婦人会	総会 例会 各種研修会 研修旅行 料理教室 福祉施設慰問 清掃奉仕など 5/4 初参式	
文化箏同好会	毎月第1金曜日 13時30分 指導:平田澄子 先生	
女声コーラスコール清風	毎月第1木曜日 9時30分 指導:平田澄子 先生	
本山関係	千鳥ヶ淵全戦死者追悼法要 など	
備後教区	各種研修会 定例法座(毎月11日) 報恩講(11/30) 総代研修会	
備中里組	連続研修会	

家族そろってお聴聞

—— み教えは日々の生活のよりどころ ——

門信徒の広場

地区委員さん登場



園井地区

酒田 公子

さん

酒田さんは令和3年から園井地区4戸を担当くださっています。当地区には山の傾斜を利用した果樹栽培や畑作等の耕作地が広がり、また種々の事業所が点在する

新たに法務員さんをお迎えしました



井原市芳井町 徳善寺
後谷 唯明 師

昭和61年生まれ

普段は福山の備後教区教務所に
つとめておられます。

今後、みなさんのご法事などを
後谷さんにつとめていただくこと
がありますが、どうぞ温かくお迎
えください。

川柳

安い酒飲んでダウンをする二流

藤井智史

閑静な場所です。かつては木造の市営住宅が並んでいましたが、今では空き地になっていきます。坂道を越えると笠岡西中学校があります。

当地区のご門徒宅は広範囲に点在しており、近頃では昼間不在の方もあるうえ、ご自身は運転免許を返納してシニアカーで移動されるため、配り物等にはご苦労があるとのこと。
(高田泰紀記)

ありがとう

花壇作り 崖懸 小菊鉢
小菊懸 崖懸 小菊鉢
入江 住谷大志さん



研修旅行のおおさわい

別院めぐりをしてしている門信徒会の研修旅行ですが、今年も京都、大谷本廟へ6月17日(火)にバスで日帰りで参拝。またサントリービル工場見学も予定しています。次号で募集を開始します。

大谷本廟へ分骨ご希望の方は4月30日までにお申し込みください。それ以外の申し込み締切は6月3日(火)。

やさしい仏教講座

第28回 12月12日(まとめ)

「散骨や樹木葬について」

散骨は粉末にした遺骨を海に撒きます。業者が数社あり、笠岡周辺にもあります。遺骨を自然に還す点では理想的です。業者を通したり、船をチャーターするので費用はそれなりにかかります。

樹木葬は二十五年ほど前に岩手県の寺院が提唱しました。山に墓標の代わりに木を植え、その根元に遺骨を埋葬し、里山の保全を兼ねて手入れを続けます。山の維持管理がなされることで里にもいい影響があり、森も正常な生態系が保てます。人手がいるので費用はかかりますが、子孫によい環境を残せるのがすばらしい点です。

ただ、実際の「樹木葬」の多くは小さな墓石を樹木の周りに並べたもので、費用は安いけれど形式としては従来の墓地とあまり変わらないので注意が必要です。

「天親菩薩の教え」

正信偈の「帰入功德大宝海…入生死園示応化」までで、意味は「功德の大きな宝の海(阿弥陀さまの願いの世界)に入れば必ず「極楽

に往生する」大衆の一員になることが決定する。「阿弥陀さまの」蓮華蔵世界(極楽)に到達すればただちにさとりの身となることが約束される。「そして」煩惱「で苦しむ人々」の中で自在にはたらし、すぐれた力を発揮し、生死の園(世俗の世界)に入って個々に応じてはたらきかける」

天親菩薩は極楽を色形のある世界であり色形にとらわれない世界でもあると説かれます。本来は思慮の及ばない世界ですが、お経には宝石や金で飾られた素晴らしい世界とあります。極楽をあこがれる世界として描くことにより、生きる拠り所としてほしいというお釈迦さまの願いがあるのです。

「念珠と門徒式章」

浄土真宗本願寺派の正式な念珠の形式や扱い方などをみました。門徒式章は門徒が仏事の際に掛けます。機会があればお好みのものを購入されるとよいでしょう。



新春のつどい 1月20日



一月二十日正午より浄心寺聚園にて、三十二名が参加し開催。恒例の箏の弾き初めに始まり、カラオケ、コールド清風によるコーラスなどを楽しみました。また昨年に行いました「やさしいクイズ大会」を行いました。三問勝ち抜けて、景品にゆで卵をもらい、大喜び。大いに盛り上がりました。

最後は福引をして散会となりました。千鳥足の方々は無事おうちにたどり着けたでしょうか。本年もどうぞよろしく願います。



仏婦 研修旅行

十一月五日、三十二名で広島県北広島町の浄謙寺を参拝し、イタリアン精進料理のコースをいただきました。

川柳
遠う助詞使い大爆発の頭

藤井智史



仏具おみがき

本堂の仏具の一年間の汚れを落とす「おみがき」が十一月七日に行われました。

ダーナ募金で米を寄贈

十月二十五日、仏教婦人会は高田芳子会長ら三名で笠岡のNPO法人ハーモニネット未来に、米を二〇〇キロ寄贈しました。



平和のつどい

備後教区の第十八回平和のつどいが、庄原市民会館で十月三十一日に開催されました。当寺からは藤井祐三、長安圭一、戸田眞左子、藤井悦子の各氏と坊守が参加。

全戦争犠牲者追悼法要ののち、三次市出身のヴィオラ奏者沖田孝司さんと、妻のピアノ奏者沖田千春さんの公演を聴きました。



仏婦料理教室開催

コロナ禍で中止していた料理教室が、久しぶりに開かれました。十月二十二日九時半より、榊平洋子先生ご指導のもと調理。

メニューはちくわの三色揚げ、里芋のどうるわかしー、鶏もも肉のポン酢煮、かぼちゃパン。手軽に調理でき、お家で作っても喜ばれそうだと好評でした。



初参式のごあんない

5月4日(祝) 10時より

お子さんの初めてのお寺参りです。七・五・三に代わる儀式として、ぜひご参加ください。お申し込みは浄心寺まで。



還浄(げんじょう)

(敬称略)

藤井 美怜	10	19	藤井 美怜	10	19
津田 哲子	10	26	津田 哲子	10	26
原田雄一郎	10	29	原田雄一郎	10	29
長安 英	10	31	長安 英	10	31
三宅 健市	11	6	三宅 健市	11	6
濱田佐津紀	11	11	濱田佐津紀	11	11
岡 清人	11	13	岡 清人	11	13
長安 富貴	11	20	長安 富貴	11	20
高橋 保文	11	26	高橋 保文	11	26
北村 允子	11	27	北村 允子	11	27
高橋 晴子	12	13	高橋 晴子	12	13
西村富久夫	12	17	西村富久夫	12	17
赤田 節子	12	22	赤田 節子	12	22
平田 福女	12	24	平田 福女	12	24
阪脇源三郎	12	26	阪脇源三郎	12	26
松元 健丈	12	28	松元 健丈	12	28
日下 宏昭	1	8	日下 宏昭	1	8
住吉 勝子	1	10	住吉 勝子	1	10
鈴木翔太郎	1	16	鈴木翔太郎	1	16
小阪 弘枝	1	19	小阪 弘枝	1	19
藤本 秋義	2	4	藤本 秋義	2	4
菅川 忠道	2	5	菅川 忠道	2	5
金光町	19		金光町	19	
宮地	94		宮地	94	
鴨方町	92		鴨方町	92	
横島	94		横島	94	
旭が丘	98		旭が丘	98	
西大島	58		西大島	58	
鴨方町	93		鴨方町	93	
横島	89		横島	89	
樋守	80		樋守	80	
生江浜	85		生江浜	85	
樋守	92		樋守	92	
新横島	88		新横島	88	
大宜	96		大宜	96	
城見台	97		城見台	97	
大井南	93		大井南	93	
富岡	85		富岡	85	
西本町	73		西本町	73	
宮地	77		宮地	77	
倉敷市	36		倉敷市	36	
下田頭	84		下田頭	84	
金光町	92		金光町	92	
生江浜	93		生江浜	93	

浄土真宗



教えと

そのあゆみ



風や雨に打たれる

野ざらしの墓

親鸞の墓所「大谷廟所」

東国から墓参に来る門弟たちにとつて、その質素な墓は寂しい思いを抱かせたので、墓をおおう建物を造りました。

●大谷廟堂を造る

親鸞の晩年を世話した末娘覚信尼(一二二四〜八三)は、親鸞の死後、小野宮(おののみや)禅念(ぜんねん)と再婚しました。小野宮の家は、親鸞の墓所の近くにありました。ここに門弟たちは親鸞の死後十年目の文永九年(一二七二年)に堂を建てて墓を

移し、大谷廟堂と称しました。

当初は堂内には石塔だけが建っていました。二十余年後の永仁三年(一二九五)頃に親鸞の木像を安置しました。これ以後は大谷影堂と称しました。

堂の土地は禅念が覚信尼に譲り、覚信尼はこれを門弟の共有地としました。廟堂の管理(留守職)という)には覚信尼が当たり、以後はその子孫が東国門徒の承認を得て就任することにしました。廟堂の運営の費用は門弟が出し合いました。

●留守職をめぐる争い

弘安六年(一二八三)、覚信尼は

先夫日野広綱との間に生まれた長男覚恵(一二三九頃〜一三〇七)を留守職に指名した。

正安三年(一三〇一)に親鸞の長男即生房の孫源伊が留守職就任を主張した。これをきつかけに、覚信尼と小野宮禅念との間に生まれた唯善が留守職を望み、覚恵を大谷から追放して影堂を占拠した。この衝撃で覚恵は発病し、後事を長男覚如(一二七〇〜一三五二)に託し、徳治二年(一二三〇)四月十二日に死去しました。

覚如と東国門弟は事件の処理を青蓮院に訴えました。延慶二年(一二三〇)敗訴を予知した唯善は、親鸞の遺骨と木像を奪い墓塔と影堂を破壊して、鎌倉の常葉に逃げました。

お盆参りの中止について

おとしから各お宅を回るお盆参りは中止にし、お寺での「お盆法要」にお参りいただいています。

ご自宅へのお盆参りをご希望の方は、**6月25日まで**にお知らせください。日時を調整し、後日お参りの日程をお知らせします。

お盆法要は**8月14日**9時、11時、14時、**15日**10時、14時です。いづれかにご参拝ください。

仏教講座が14時からに

夜の7時半からの「やさしい仏教講座」ですが、夜出にくい方が増えてきたため、今後は午後2時から3時半までに変更することになりました。今年度の開講日に変更はありません。

編集後記

冬の名残りのまだ去りやらぬ時候、皆様お健やかな日々をお過ごしのことと存じます。

昨年の報恩講、新春のつどい等のご報告、令和七年度の行事予定、その他諸行事等をお知らせする第150号をお届けいたします。

春の日差しを受けて皆様お元気にお過ごしください。

(編集委員 釋賢大)

門前の土塀のシクイが剥落



昨年十一月の雨の日に、門前の池の塀の漆喰が剥落しました。

他にも、漆喰と土壁の間の至る所に隙間があり、今にもはがれそうな状態でした。さらに、漆喰をはがすと至る所に木の根が入り込んでいました。

年明けから修復工事をして、二月上旬には完了しました。



川柳

主役よりイケメンだった包装紙

藤井智史



除夜会・修正会

12/31